

第1回 第1採択地区調査研究委員会 会議録

- 1 日時 令和3年7月8日（木）15：00～16：00
- 2 会場 大阪市教育センター 第1研修室
- 3 出席者
（委員） 宮本委員、筋原委員、井上委員、藤川委員、山野委員、小花委員

【事務局】 坂田総括指導主事、飽田総括指導主事、鈴木指導主事

- 4 議題
- （1）今年度の調査研究の経緯について
 - （2）調査研究の経過について
 - （3）調査の観点の確認
 - （4）学校調査会報告
 - （5）調査報告資料（案）について
 - （6）事務連絡

5 議事録

【事務局】

それでは、ただいまより、第1採択地区使用教科書調査研究委員会を開会いたします。
委員の皆様におかれましては、お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。
早速ではございますが、本日ご出席の委員の皆様をご紹介します。
大阪市PTA協議会会長、宮本様。

【委員】

宮本でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

港区担当教育次長、筋原様。

【委員】

筋原でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

歌島中学校副校長、井上様。

【委員】

井上でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

同じく主務教諭、藤川様。

【委員】

藤川でございます。よろしくお願いいいたします。

【事務局】

第1教育ブロックグループの山野部長。

【委員】

山野でございます。よろしくお願いいいたします。

【事務局】

同じく小花首席指導主事。

【委員】

小花でございます。よろしくお願いいいたします。

【事務局】

本日は6名の委員がご出席ですので、大阪市立義務教育諸学校使用教科書調査研究委員会要綱第7条第3項により本委員会に属する委員の過半数の出席がございますので、会議が有効に成立しておりますことをご報告いたします。

また、会議は、要綱第7条第5項により非公開で行います。次に、配付資料についてご説明いたします。「配付資料」と題する文書をご覧ください。そちらに記載しておりますように13種類の資料をお配りしております。ご確認ください。過不足はございませんでしょうか。ございましたら挙手願います。よろしいでしょうか。

なお、教科書展示会において7月1日までに寄せられたアンケートの結果につきましては1部しかご用意がございませんので、順に回してまいります。筋原様と宮本様の間にあるファイルとなりますのでよろしくお願いいたします。適宜ご参照ください。

それでは、次第に沿って会議を進めてまいります。3の「調査研究の経緯」につきましてご説明いたします。

事務局よりご説明いたします。

【事務局】

第1教育ブロックグループ指導主事の鈴木です。私からご説明いたします。資料3をご覧ください。中学校の使用教科書は昨年度に採択しましたが、その後、自由社の「新しい歴史教科書」が文部科学大臣の検定を経て新たに発行されることとなりました。このため、歴史におきましては教育委員会に採択替えを行うか否かを判断する必要が生じております。

このことについて、5月11日の教育委員会で、採択替えを行うか否かを判断するための調査・研究を行うことが決議され、同日付けで要綱に基づき「調査研究委員会」が設置されました。その後5月31日から、各学校において学校調査会を設置し、調査・研究を行いました。

そして、本日7月8日の調査研究委員会におきまして、昨年度の調査の観点に基づいて、自由社について、昨年度に採択した帝国書院との優位性も含めて調査・研究を行っていただき、7月下旬までに調査報告資料を作成していただきます。その調査報告資料をもとに、8月末の教育委員会で当採択地区の教科書を帝国書院から自由社に採択替えを行うか否かを判断することになります。

次のページをご覧ください。

皆様は、第1採択地区使用教科書調査研究委員会に所属しておられますので、此花・港・西淀川・淀川・東淀川の5区・26校で使用する教科書について調査・研究を行っていただきます。また、この委員会での調査・研究に当たり、26校の学校調査会の報告を受けるのは昨年度と同じでございます。

なお、昨年度は咲くやこの花中学校の使用教科書についてもご審議いただきましたが、本年度につきましてはこの委員会では取り扱わないこととされております。

以上ご説明申し上げたように、本日の会議では、学校調査会の調査結果を受け、昨年度と同じ調査の観点に基づき調査・研究を行い、調査報告資料を作成してまいりたいと存じます。できれば本日のうちに資料を取りまとめるところまで進めたいと存じますので、委員の皆様にはご協力の程よろしくお願い申し上げます。

以上が、「調査・研究の経緯」についての説明でございました。

【事務局】

事務局の説明は以上です。ただいまの説明で何かご質問等はございますでしょうか。

それでは、次第の4の「調査の観点の確認」に移ってまいります。事務局よりご説明いたします。

【事務局】

私からご説明いたします。資料4をご覧ください。昨年度の諮問文でございます。改めて内容をご確認いただければと存じます。次に、資料5をご覧ください。昨年度の調査の観点でございます。末尾の3ページをご覧ください。社会・歴史的分野の観点につきましては、3項目・20観点となっております。そのうち丸をつけている5つの観点が、昨年度に重点化した観点でございました。

これらの観点を選んだ理由といたしましては、1の③は、新学習指導要領の大きな特徴である「主体的・対話的で深い学び」に関する観点だからでございました。そして、2の②と2の③は、新学習指導要領が学びを通して育む力として掲げる「知識及び技能」に、2の⑥は同じく「学びに向かう力」にそれぞれ関連する観点でございます。そして、3の⑥につきましては、第1採択地区では学力に課題のある学校が多く、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図る必要があることから選んだものでございました。

なお、歴史的分野における当地区の特徴について分析いたしましたところ、中学生チャレンジテストの社会Aについて、中学2年生における歴史的分野の領域別平均正答率は、令和元年度で市平均より0.5点低く、2年度で0.7点低い結果となっており、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が課題であると考えられます。

また、当地区は近代以降にもものづくり製造業の立地が進んできたという歴史があるところが特徴であると存じます。以上が、「調査の観点の確認」についての説明でございました。

【事務局】

事務局の説明は以上です。ただいまの説明で何かご質問等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、次第の5の「学校調査会調査結果等の報告」に移ってまいります。事務局よりご説明いたします。

【事務局】

私からご説明いたします。資料6をご覧ください。昨年度の学校調査会の調査結果でございます。審議で適宜ご参照ください。次に、資料7をご覧ください。自由社の学校調査会の調査結果でございます。学校調査会は、各校で5月31日から調査員による調査を行い、6月25日に全て終了いたしました。

学校調査会は、調査の観点の項目、すなわち大阪市教育振興基本計画等との関連、内容の取扱い、その他の3つの項目ごとに、特に優れているとする観点と特に工夫・配慮を要するとする観点を、それぞれ2点以内で挙げることとなっております。この資料は26校の報告を集約したものでございまして、下から4行目の重点化した観点計や、その上の全観点計の数から発行者ごとの優位性が分かります。

まず、下から4行目の重点化した観点計でございますが、自由社については、特に優れている点が17点、特に工夫・配慮を要する点が32点となっております。なお、昨年度の帝国書院の結果は、特に優れている点が30点、特に工夫・配慮を要する点が1点でございます。この点では、帝国書院に優位性が見られます。

次に、資料8をご覧ください。昨年度の調査において、各学校調査会から寄せられたコメントの代表的なものを一覧にしたものです。資料9にまいりまして、自由社の代表的コメント一覧です。次に、資料10をご覧ください。定量的調査資料でございます。各教科書の特色を客観的な数値データ等で表したものでございます。これらの資料は、審議で適宜ご参照ください。

最後に、皆様にお回ししております教科書展示会アンケート資料につきましては、市内30か所の教科書センターにおける「教科書展示会」の来場者からお寄せいただいたものです。7月1日現在のアンケート総数は319となっております。適宜ご参照ください。

以上が、「学校調査会調査結果等報告」についての説明でございました。

【事務局】

事務局の説明は以上です。ただいまの説明で何かご質問等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、次第の6の「調査報告資料の審議」に移ってまいります。

調査報告資料の素案は、本日の会議での調査・研究に資するため、社会科を専門とされている井上委員と藤川委員のご協力を得て作成されたものです。事務局よりご説明いたします。

【事務局】

私からご説明いたします。資料11をご覧ください。昨年度の答申資料です。現在使用している帝国書院は、ページを打っておらず申し訳ございませんが、3番目に載っております。自由社との優位性を検討するに当たりご活用ください。次に、資料12をご覧ください。調査報告資料の素案でございます。

まず、1番上の総評欄についてでございますが、これは重点化した5つの観点について、観点ごとに特に優れているのか、それとも特に工夫・配慮を要するののかといった評価を記載しております。特に優れている点は2の②と2の③の2点、特に工夫・配慮を要する点は1の③、2の⑥、3の⑥の3点としております。

また、一般社団法人教科書協会からの連絡によれば、教師用指導書及び教科書準拠周辺教材の作成は未定であるとのことでした。

ただいまの内容を帝国書院と比較いたしますと、帝国書院は、重点化した観点では、特に優れている点が5点、特に工夫・配慮を要する点はなしでございましたので、帝国書院の方に優位性がございます。帝国書院の方に優位性があるとの結果は、学校調査会と一致しております。

次に、自由社の大きな特徴をご紹介しますと、それは2の③と言えると存じます。見本本の100ページをご覧ください。ここにありますように章ごとの「調べ学習のページ」で、「日本人の名字の由来を尋ねてみた」というテーマを取り上げ、2つの課題について調べ、わかったことをまとめるといった、歴史の情報を調べる学習の例が載っております。調べまとめる技能を身に着けるように配慮されている点が特徴でございます。他の章末の「調べ学習のページ」にも学習例が載っており、共通した特徴と言えます。

次に、両者の評価の違いで特徴的なのは1の③でございます。まず、帝国書院の見本本の60ページをお開きください。冒頭の「第2章 中世 武家政権の成長と東アジア」の標題の下に、「章の問い 人々がそれぞれに結び付きを強めていった目的は何か。」とございます。このように、章のはじめに単元を貫く問いが明示され、節ごとに到達目標を示し見通しをもって学習に取り組むことができるよう工夫されております。

次に、92ページをご覧ください。「章の学習を振り返ろう」のページでは、先程の「章の問い」を踏まえ、この章を知識と、思考力、判断力、表現力の両面で振り返るようになっており、ステップを分けて構成することで深い学びへとつながるよう工夫されております。

次に、144ページをご覧ください。「多面的・多角的に考えてみよう」という特設ページでございますが、このページでは「赤穂事件を考察する」と題して、深い学びにつながるよう、多面的・多角的に考えられるような問いと資料が用意され、当時の人々がおかれた時代背景や立場などからエンパシーの授業が展開されるように構成されております。このようなページが3箇所設けられております。

これに対し、自由社についてでございますが、見本本の140ページをご覧ください。特設ページとしては「もっと知りたい」と題するコラムが21箇所設けられており、このページは同じ赤穂事件を取り上げておりますが、主体的・対話的で深い学びを進めるに当たり、それに資するテーマと資料を提供するものとはなっておりません。

次に、19ページをお開きください。章の冒頭のページですが、さくらさんと翔太君の会話が載っておりますが、章を貫く問いが設定されているとは言えず、主体的・対話的で深い学びを進めるうえで配慮を要すると思われるところです。

これまでご説明したように、この素案では自由社より帝国書院の方に優位性があるという内容となりました。

以上が素案の説明でございました。井上委員、藤川委員から補足がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

【事務局】

事務局の説明は以上です。それでは、これからこの素案をたたき台としてご審議をお願いしたいと存じます。この素案はあくまでもたたき台ですので、委員の皆様におかれましては、素案にこだわらずにご発言いただいてさしつかえございません。

これからの審議を経て、最終的には、自由社と帝国書院のどちらに優位性があるかを示すよう、調査報告資料を取りまとめていただきたいと存じますので、よろしく願いいたします。それでは、どなたからでも結構ですので、ご意見・ご質問をお願いいたします。

【委員】

自由社では内容の取扱いの2の②と2の③が特に優れている点に記載されているのですが、同じ観点は帝国書院でも同様に特に優れている点として記載されているので、どちらが具体的に優れているといった差みたいなものがあれば教えていただければありがたいです。

【委員】

失礼いたします。まず、2の②について、帝国書院は、近世以前の章に世界の動きに関する節を設けているという特色があります。自由社では、第1章では22ページから29ページまでがそれに当たっており、他の章でも第1節に世界の動きに関する内容を載せております。帝国書院では、第1章で16ページから23ページに同様の内容が載っております。他の章でも同じになります。また、56ページにあるように、各章のまとめで日本の大きな歴史の流れと時代の特色を理解できるように工夫されています。

次に、2の③についてですが、自由社については先程「調べ学習のページ」についての説明がありましたが、帝国書院については、15ページをご覧ください。見開き2ページごとに右下に「確認しよう」と「説明しよう」のテーマを設定し、学習した内容の整理と自分の考えを説明するよう促している点に特徴がございます。少し小さめの記載になりますが分かりますでしょうか。以上のように、これらの観点については両社ともに工夫が見られたところであり、それぞれの工夫は特色であって、どちらが優れているというものではないことから、優位性に差があるとまでは言えないと考えております。

【事務局】

昨年度の帝国書院の答申資料と、今年度の自由社の調査報告資料の内容で、いずれもこの2の②と2の③につきまして特に優れている点という報告がされているわけですが、どちらが優れているかという差はないと捉えているという報告でした。

他に質問等はございますでしょうか。ございましたら挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。

【委員】

それでは、私から。諮問書には「ICT機器等を活用した学習活動など、新しい授業様式も考慮し」とあり、昨年度の審議でもQRコードについて議論があったかと思えます。自由社は教科書を見るかぎりQRコードがないように思うのですが、ICT機器の活用などにはどのように対応しているのか分かりますか。

【委員】

山野委員の指摘のとおり、自由社の見本本にはQRコードは見当たりません。各発行者が編集上特に意を用いた点や特色を説明するものとして、文部科学省に提出している「教科書編集趣意書」にもQRコードに関する記述はなく、対応していないものと考えられます。

一方、帝国書院は見本本にも「教科書編集趣意書」にもQRコードに関する記述があり、この点については両者に違いがあるところだと思えます。なお、帝国書院のQRコードは、NHK

for School のコンテンツ等にアクセスするようになっていきます。

【委員】

章のはじめの部分にあるコードをタブレットか何か使えばNHK for School につながるといふことでしょうか。

【委員】

はい。例えば第6章の現代であれば、258ページの右の上の方にある部分です。

【委員】

歴史だけに限らず他の教科でも、学校でQRコードはよく使うのですか。

【委員】

はい。学校に1人1台パソコンが導入されたので、QRコードを使って情報や資料がすぐに見つけられるようになって便利になっています。

【委員】

ありがとうございます。

【事務局】

他に質問はございますでしょうか。

【委員】

はい。すいません。素案で自由社は工夫・配慮を要する点が書かれているのですが、具体的な代表例として67、68ページのところが書かれています。『時代の特徴を考えるページ』『対話とまとめ図のページ』では、テーマが多岐にわたっているため、テーマの探究にあたっては指導に工夫が必要であり」とありますが、具体的にどの部分がそれにあたるのかということと、66ページでは一問一答形式が工夫を要するという部分についても具体的にどういった内容か教えていただければと思います。

【事務局】

いかがでしょうか。

【委員】

はい。社会の歴史の学習では、以前は一問一答のように知識を覚えるといった形式でしたが、今は時代ごとをまとめて、それらについて自分の意見を言えるようにいう形式になっています。そういったことから見ますと、自由社の66ページは知識を押さえるという形式になっており、帝国書院は時代ごとにまとめるところが意識されていると考えられます。

【委員】

今のご説明は帝国書院ではどのページになるのでしょうか。自由社では古代のページの66ページでした。

【委員】

帝国書院の古代では56ページの「学んだ事を確かめよう」の部分です。

【委員】

帝国書院でしたら、何が優れているのでしょうか。

【委員】

歴史では見方や考え方が大事な点として挙げられます。見方や考え方をもちてその時代を

説明しようとするには、知識を覚えるだけでなく、その知識を利用して思考、判断ができるようにつなげられるかということが学習指導では求められています。中学生が自分で文章を考えるためには、こういったステップ1、2といった段階を踏んでいくことが大切で、そういった工夫が帝国書院の「章の学習を振り返ろう」のページではみられます。

【事務局】

次に、自由社の「時代の特徴を考えるページ」などの部分ではどういったことがありますか。

【委員】

必要な語句などは書かれていますが、それをどのように生かしていくのかといった部分が中学生には分かりづらいと思います。

【事務局】

そのことが、調査報告資料では「テーマが多岐にわたっているため、テーマの探究にあたっては指導に工夫が必要であり」との評価になっていると捉えさせていただいたらいでしょうか。

【委員】

はい。

【委員】

自由社の67、68ページにあたる部分は、帝国書院の57ページということで、自由社の66ページが帝国書院の56ページにあたるということでしょうか。

【委員】

はい。

【委員】

自由社の67、68ページは色々な内容が載っているのでテーマが多岐にわたっているというのに対し、帝国書院の57ページでしたら、古代の国が成立するという一つのテーマで段階的に理解を深めていくというかたちであり、そちらの方が学習しやすいということでしょうか。

【委員】

帝国書院は、学習を徐々に深めていくような、そういった工夫が見られます。自由社の方は文字がたくさん並んでいるので、中学生にとってはある程度ハードルが高く感じると思いますし、宿題や課題として設定したときに、すぐに諦めるのではないかと考えます。帝国書院であれば、少しずつクローズアップして歴史の理解を深めていこうという、そういった促しがあるので、使用者としても使いやすい良くてきた内容だと思います。

【事務局】

ありがとうございました。この件について何かございますでしょうか。他にございますでしょうか。

【委員】

市会でも昨年度の教科書採択に関する質疑がありましたが、その中で障がいのある方に配

慮したユニバーサルデザインについて取り上げられていました。調査の観点で言えば3の④になりますが、自由社はその点の配慮があるのでしょうか。

【事務局】

自由社の「教科書編集趣意書」には、ユニバーサルデザインに関する記述がなく、見本本でもその配慮が明らかになっていません。帝国書院では、見本本の裏表紙に、色覚特性に配慮した色づかいやユニバーサルデザインフォントの採用といった工夫を行ったことが明記されています。また、「教科書編集趣意書」にも同様の記述があったので、この点は両者に差異があるところだと思われます。

【事務局】

他にご質問はございますでしょうか。

【委員】

はい。小学校の話になるのですが、家庭と学校の間の教科書の持ち運びに関わり、その重さが置き勉などの議論になっています。実際の重さのデータとかはありますか。

【事務局】

重さについて、事務局で見本本を測ったところ、重さは自由社が約 660 グラム、帝国書院が約 620 グラムで、自由社が約 40 グラム上回っているような状況でした。縦横の寸法は両者とも同じですが、厚さは自由社が約 12 ミリ、帝国書院約 10 ミリです。

【委員】

先程の事務局の説明では、第1採択地区の歴史的な特色について触れられていました。採択地区に関するものはないかもしれませんが、大阪についての記述については、どれくらいあるのかは分かるものですか。

【事務局】

資料 10 の定量的調査資料をご覧ください。開いていただいて、2枚目にある末尾から2つ目に大阪についての記述箇所数の表がございます。帝国書院も自由社も 20 箇所なので同じになります。

【事務局】

他にご質問はございますでしょうか。

【委員】

すみません。帝国書院の教科書は現在、各学校で使用されていると思うのですが、実際に使われている教員の方の評判はどうですか。

【委員】

帝国書院は当地区の中学1年生で使用していますが、1学期の時点では、教育課程上で地理を指導されている学校が多いので歴史の教科書を使っている学校は2校だけしかありません。2校の声なので少しだけですが、資料やイラストが多くあり使用しやすいということは聞いております。

【事務局】

他にご意見やご質問はございませんでしょうか。

【事務局】

ご意見等がございませんでしたら、これで審議の取りまとめに入ってまいりたいと存じます。ただいまのご審議では、調査報告資料の素案について評価を見直すべきとのご意見はなかったと存じますので、自由社より帝国書院の方に優位性があるということで、この内容で調査報告資料を取りまとめることで一致したと考えさせていただいてよろしいでしょうか。この点について、ご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議がないようですので、そのように取り計らうことといたします。

(全員うなずく)

【事務局】

ご確認いただいた調査報告資料につきましては、8月10日予定の教育委員会において、帝国書院の優位性と合わせて報告することといたします。そして、8月末の教育委員会において、調査報告資料をもとに採択替えを行うか否かが決議される予定です。

委員の皆様のご任期につきましては、8月末の決議までとなっております。また、委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならず、その職を退いた後も同様とされておりますので、合わせてご承知置きいただきたいと存じます。本日の配付資料につきましては、机の上にそのまま置いておいていただき、持ち帰らないようにしてください。

それでは、以上をもちまして審議を終結し、本日の会議を閉会することといたします。長時間にわたりご参加いただき、誠にありがとうございました。